

アンケート調査からみた高齢者等の状況（集計結果概要）【抜粋版】

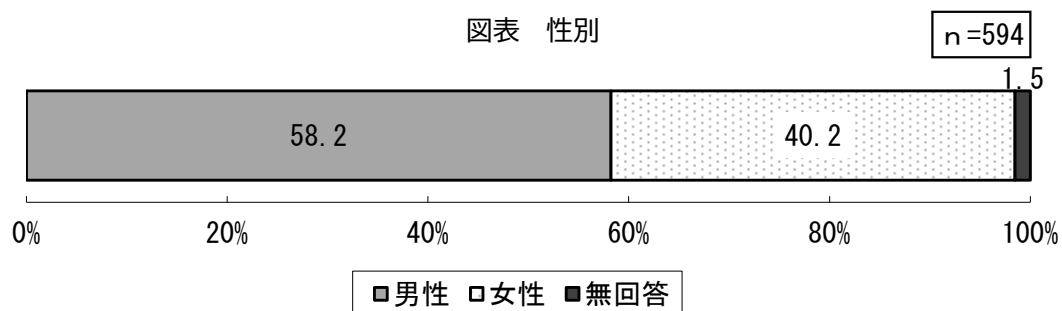
	健康と生活に関するアンケート調査 （介護予防・日常生活圏域ニーズ調査）	介護等に関するアンケート調査 （在宅介護実態調査）
調査対象	65歳以上の一般高齢者	要支援・要介護認定を受けて在宅で生活されている方
調査期間	令和8年1月23日～令和8年2月26日	
調査方法	郵送配付・郵送とWEB回収	郵送配付・回収
配付票数	999票	494票
回収票数	594票（うちWEB：37票）	259票
回収率	59.5%	52.4%

1. 健康と生活に関するアンケート調査結果

（1）対象者の属性について

① 性別

回答者の性別は「男性」が58.2%、「女性」が40.2%となっています。
前回調査と比較すると、「男性」が14.1ポイント増加しています。



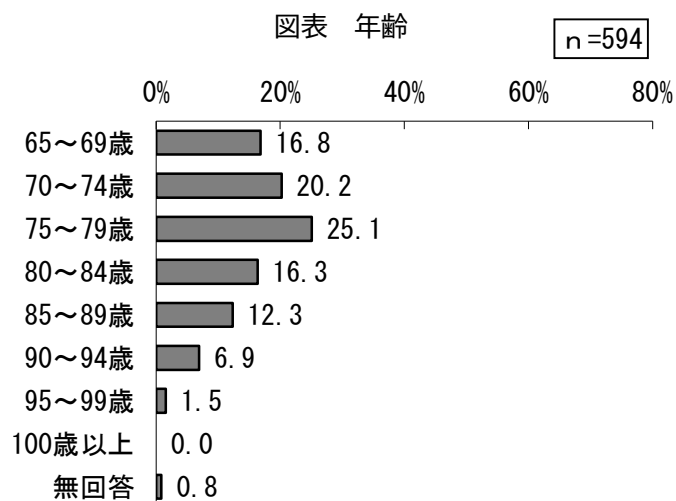
図表 性別（前回比較）

	カテゴリー名	今回	前回	増減
1	男性	58.2	44.2	14.1
2	女性	40.2	53.3	-13.0
	無回答	1.5	2.6	-1.0

② 年齢

回答者の年齢は「75～79歳」が25.1%と最も高くなっています。次いで「70～74歳」が20.2%、「65～69歳」が16.8%となっています。

前回調査と比較すると、「75～79歳」が4.3ポイント増加しています。



図表 性別（前回比較）

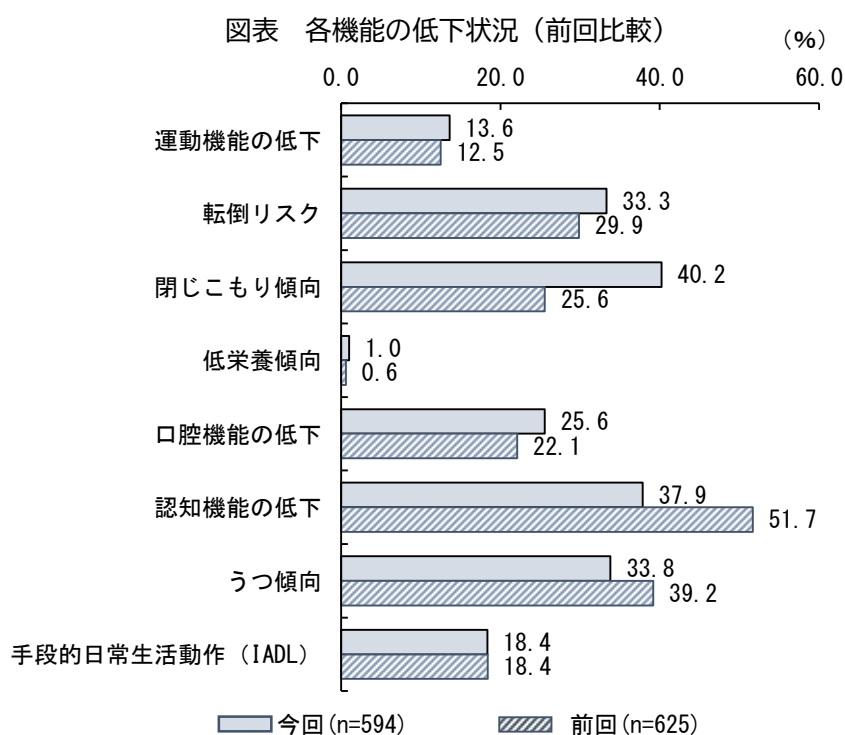
	カテゴリー名	今回	前回	増減
1	65～69歳	16.8	21.1	-4.3
2	70～74歳	20.2	26.4	-6.2
3	75～79歳	25.1	20.8	4.3
4	80～84歳	16.3	16.5	-0.2
5	85～89歳	12.3	9.8	2.5
6	90～94歳	6.9	2.9	4.0
7	95～99歳	1.5	0.5	1.0
8	100歳以上	0.0	0.2	-0.2
	無回答	0.8	1.9	-1.1

(2) 生活機能評価（リスク判定）について

回答者の各種の項目におけるリスクの状況を整理すると、「運動機能の低下」、「転倒リスク」、「閉じこもり傾向」、「低栄養傾向」、「口腔機能の低下」において、前回調査よりもリスクが高くなっています。

特に「閉じこもり傾向」では前回調査より 14.6 ポイント増加しており、「転倒リスク」も増加していることから、外出に対して課題がみられます。

一方で「認知機能の低下」と「うつ傾向」については前回調査から改善が見られ、特に「認知機能の低下」では 13.8 ポイントの減少となっています。



※手段的日常生活動作 (IADL) は 4 点以下（やや低い以下）を標記しています

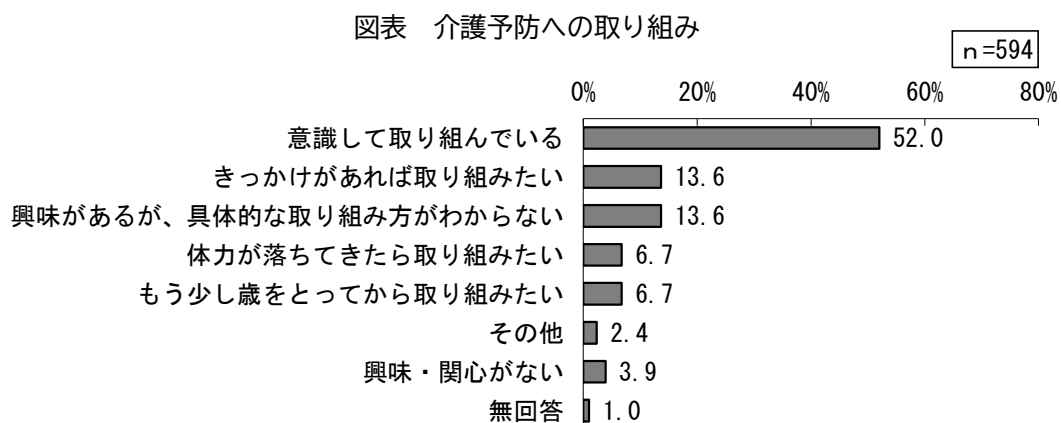
図表 各機能の低下状況（年齢別）

	運動機能の低下	転倒リスク	閉じこもり傾向	低栄養傾向	口腔機能の低下	認知機能の低下	うつ傾向	手段的日常生活動作 (IADL)
65～69 歳(n=100)	5.0	34.0	28.0	2.0	19.0	36.0	42.0	9.0
70～74 歳(n=120)	5.0	30.8	27.5	0.8	15.8	32.5	28.3	11.7
75～79 歳(n=149)	6.7	28.9	28.9	1.3	26.2	38.3	26.8	15.4
80～84 歳(n=97)	17.5	36.1	53.6	0.0	29.9	35.1	36.1	16.5
85～89 歳(n=73)	30.1	32.9	60.3	0.0	31.5	38.4	37.0	27.4
90～94 歳(n=41)	31.7	48.8	75.6	2.4	34.1	53.7	43.9	48.8
95～99 歳(n=9)	88.9	55.6	77.8	0.0	66.7	77.8	44.4	77.8

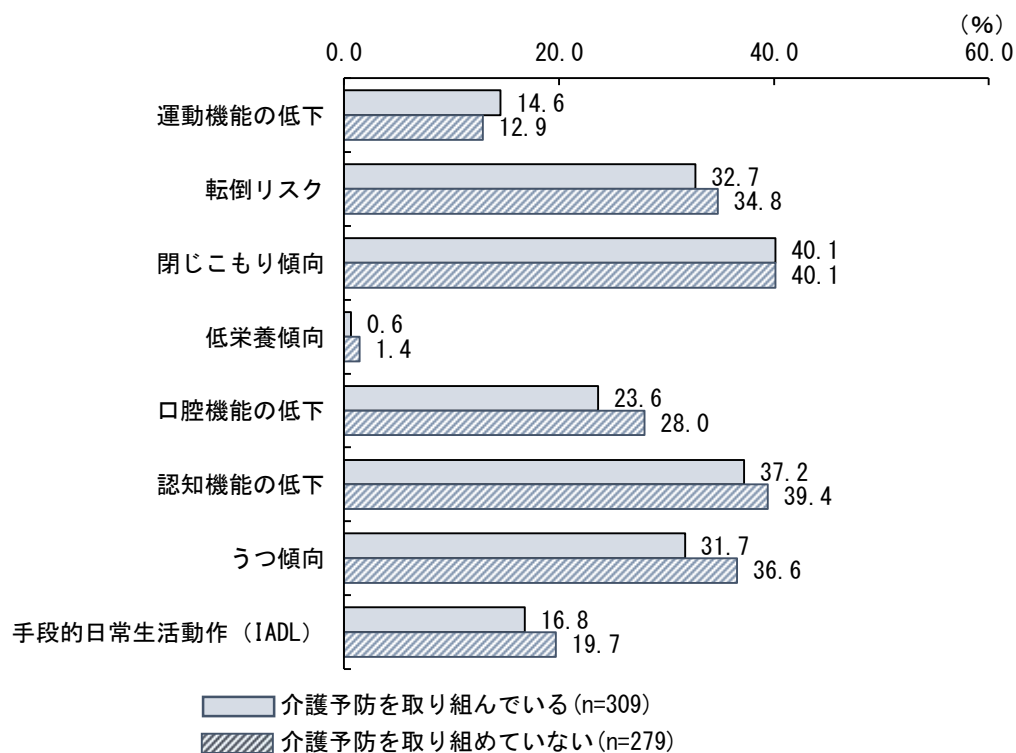
(3) 介護予防への取り組みについて

回答者の介護予防への取り組みについて、「意識して取り組んでいる」が52.0%と最も高くなっています。次いで「きっかけがあれば取り組みたい」と「興味があるが、具体的な取り組み方がわからない」が同率で13.6%となっています。

また介護予防に取り組んでいると回答した方と介護予防に取り組めていない（取り組んでいない）と回答した方のリスクを見ると、「運動機能の低下」と「閉じこもり傾向」を除き、介護予防に取り組んでいる方のリスク状況が良好であるとみられます。



図表 介護予防に取り組んでいる方と取り組んでいない方の各種リスク状況

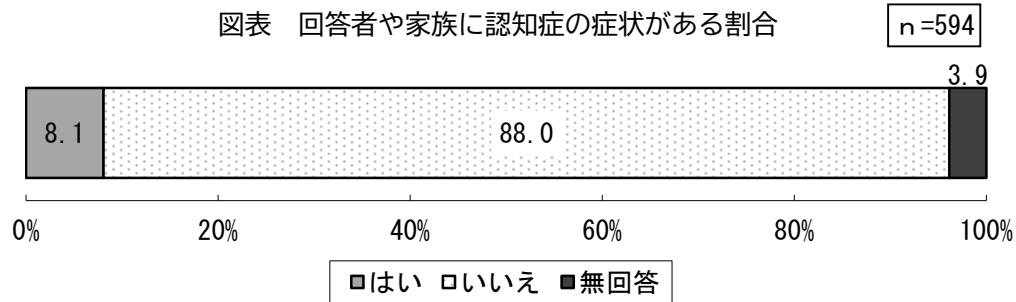


(4) 認知症について

① 回答者や家族の認知症症状の有無

回答者や家族の認知症症状の有無について、「はい（認知症症状がある）」が8.1%、「いいえ（認知症症状がない）」が88.0%となっています。

前回調査と比較すると、「はい」が1.7ポイント減少しています。

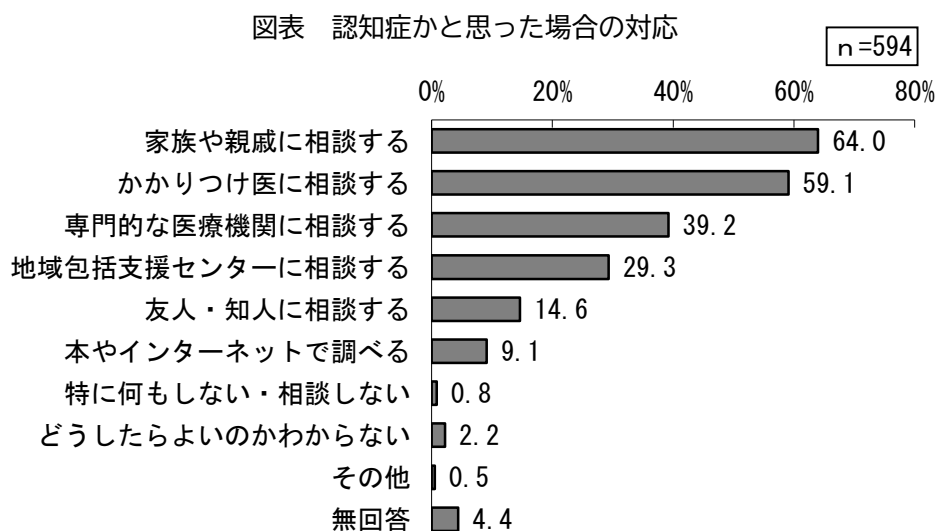


図表 回答者や家族に認知症の症状がある割合（前回比較）

	カテゴリー名	今回	前回	増減
1	はい	8.1	9.8	-1.7
2	いいえ	88.0	86.6	1.5
	無回答	3.9	3.7	0.2

② 認知症かと思った場合の対応

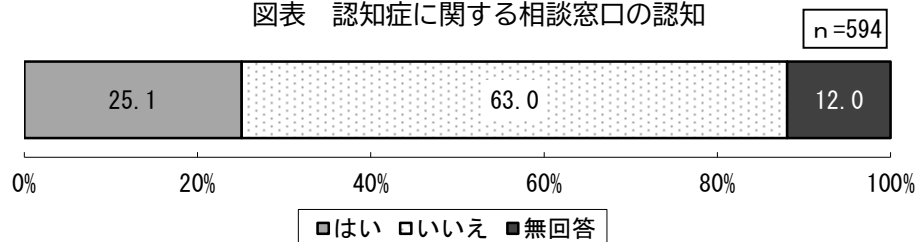
認知症かと思った場合の対応について、「家族や親戚に相談する」が64.0%と最も高くなっています。次いで「かかりつけ医に相談する」が59.1%、「専門的な医療機関に相談する」が39.2%となっています。



③ 認知症に関する相談窓口の認知

認知症に関する相談窓口の認知について、「はい(知っている)」が25.1%、「いいえ (知らない)」が63.0%となっています。

図表 認知症に関する相談窓口の認知



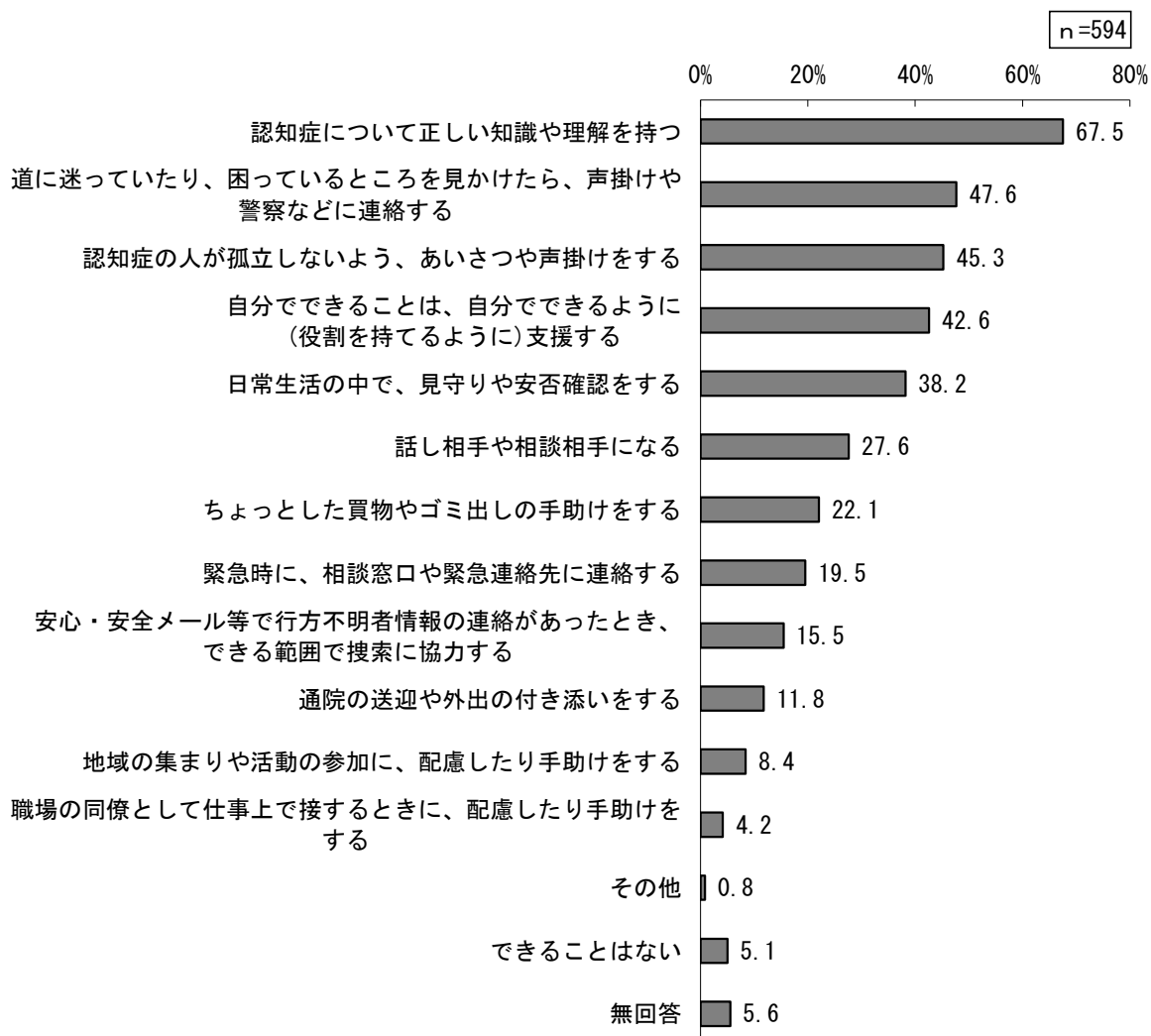
図表 認知症に関する相談窓口の認知（前回比較）

	カテゴリー名	今回	前回	増減
1	はい	25.1	28.5	-3.4
2	いいえ	63.0	67.0	-4.1
	無回答	12.0	4.5	7.5

④ 認知症の人やその家族が暮らしやすい社会になるためにできること

認知症に関する相談窓口の認知について、「認知症について正しい知識や理解を持つ」が67.5%と最も高くなっています。

図表 認知症の人やその家族が暮らしやすい社会になるためにできること



2. 介護等に関するアンケート調査結果

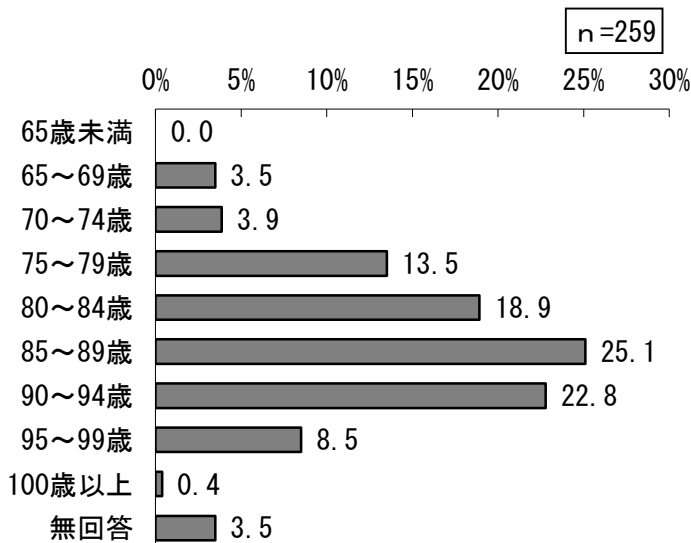
(1) 対象者の属性について

① 年齢

回答者の年齢は「85～89歳」が25.1%と最も高くなっています。次いで「90～94歳」が22.8%、「80～84歳」が18.9%となっています。

前回調査と比較すると、「90～94歳」が6.6ポイント増加しています。

図表 年齢



図表 年齢（前回比較）

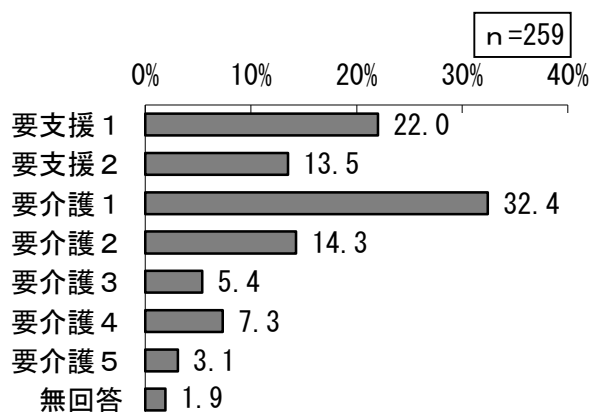
	カテゴリ名	今回	前回	増減
1	65歳未満	0.0	2.5	-2.5
2	65～69歳	3.5	3.9	-0.4
3	70～74歳	3.9	8.8	-4.9
4	75～79歳	13.5	13.4	0.1
5	80～84歳	18.9	20.1	-1.2
6	85～89歳	25.1	26.1	-1.0
7	90～94歳	22.8	16.2	6.6
8	95～99歳	8.5	8.1	0.4
9	100歳以上	0.4	0.4	0.0
	無回答	3.5	0.7	2.8

② 要介護度

回答者の要介護度は「要介護1」が32.4%と最も高くなっています。次いで「要支援1」が22.0%、「要介護2」が14.3%となっています。

前回調査と比較すると、「要支援2」が5.3ポイント増加しています。

図表 要介護度



図表 要介護度（前回比較）

	カテゴリ名	今回	前回	増減
1	要支援1	22.0	20.1	1.9
2	要支援2	13.5	17.6	-4.1
3	要介護1	32.4	27.1	5.3
4	要介護2	14.3	15.5	-1.2
5	要介護3	5.4	10.2	-4.8
6	要介護4	7.3	5.6	1.7
7	要介護5	3.1	3.2	-0.1
	無回答	1.9	0.7	1.2

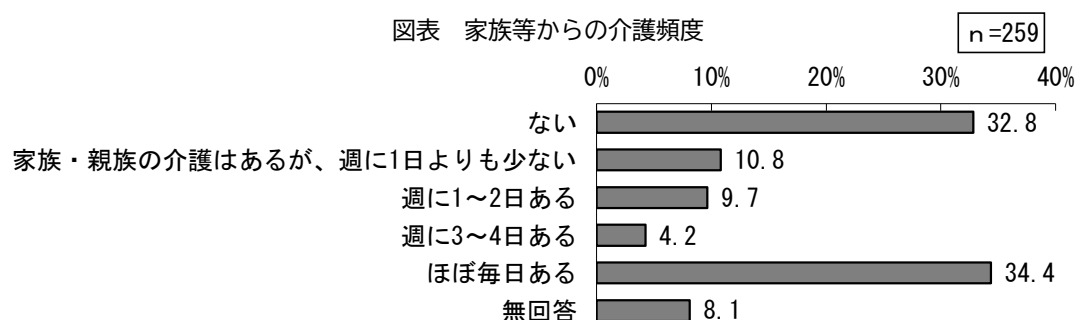
(2) 家族等による介護の状況

① 家族等からの介護頻度

家族等からの介護頻度について、「ほぼ毎日ある」が34.4%と最も高くなっています。次いで「ない」が32.8%、「家族・親族の介護はあるが、週に1日よりも少ない」が10.8%となっています。

前回調査と比較すると、「ほぼ毎日ある」が減少し、「ない」が増加しています。

要介護度別でみると、「ほぼ毎日ある」と回答した割合が最も高い属性は要介護1の48.8%となっています。



図表 家族等からの介護頻度（要介護度別）

	カテゴリー名	今回	前回	増減
1	ない	32.8	18.3	14.5
2	家族・親族の介護はあるが、週に1日よりも少ない	10.8	7.4	3.4
3	週に1～2日ある	9.7	13.7	-4.1
4	週に3～4日ある	4.2	6.0	-1.7
5	ほぼ毎日ある	34.4	49.3	-14.9
	無回答	8.1	5.3	2.8

図表 家族等からの介護頻度（要介護度別）

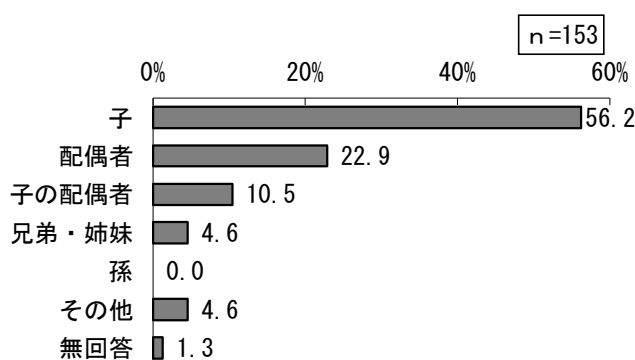
			問11 家族からの介護頻度					
		n	ない	家族・親族の介護はあるが、週に1日よりも少ない	週に1～2日ある	週に3～4日ある	ほぼ毎日ある	無回答
	全体	259	32.8	10.8	9.7	4.2	34.4	8.1
要介護度	要支援1	57	49.1	10.5	8.8	7.0	14.0	10.5
	要支援2	35	42.9	14.3	20.0	0.0	20.0	2.9
	要介護1	84	25.0	10.7	7.1	4.8	48.8	3.6
	要介護2	37	24.3	10.8	8.1	0.0	43.2	13.5
	要介護3	14	14.3	14.3	14.3	7.1	35.7	14.3
	要介護4	19	21.1	10.5	5.3	5.3	47.4	10.5
	要介護5	8	62.5	0.0	12.5	12.5	0.0	12.5

② 主な介護者について

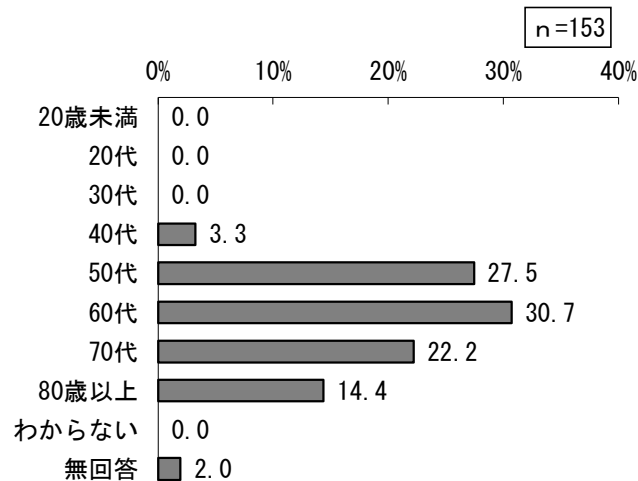
主な介護者について、「子」が56.2%と最も高くなっています。次いで「配偶者」が22.9%、「子の配偶者」が10.5%となっています。

また主な介護者の年齢は、「60代」が30.7%と最も高くなっています。次いで「50代」が27.5%、「70代」が22.2%となっています。

図表 主な介護者



図表 主な介護者の年齢

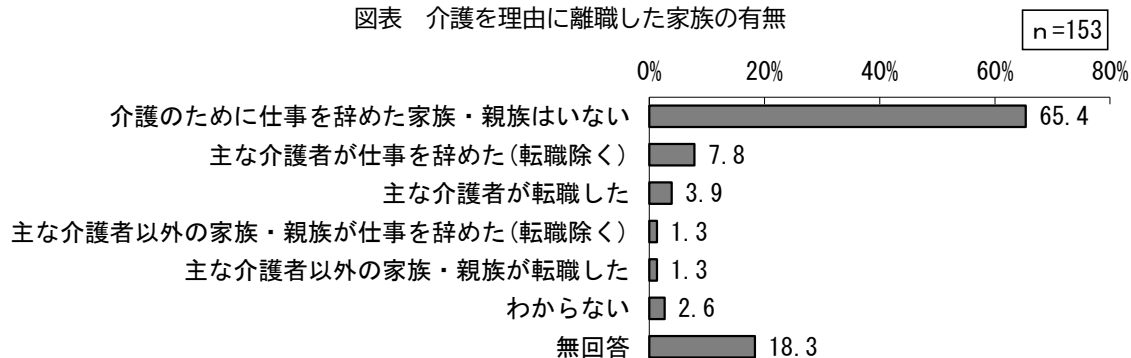


③ 介護を理由に離職した家族の有無について

介護を理由に離職した家族について、「介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない」が65.4%と最も高くなっています。

前回調査と比較すると、「介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない」が10.5ポイント増加しています。

図表 介護を理由に離職した家族の有無

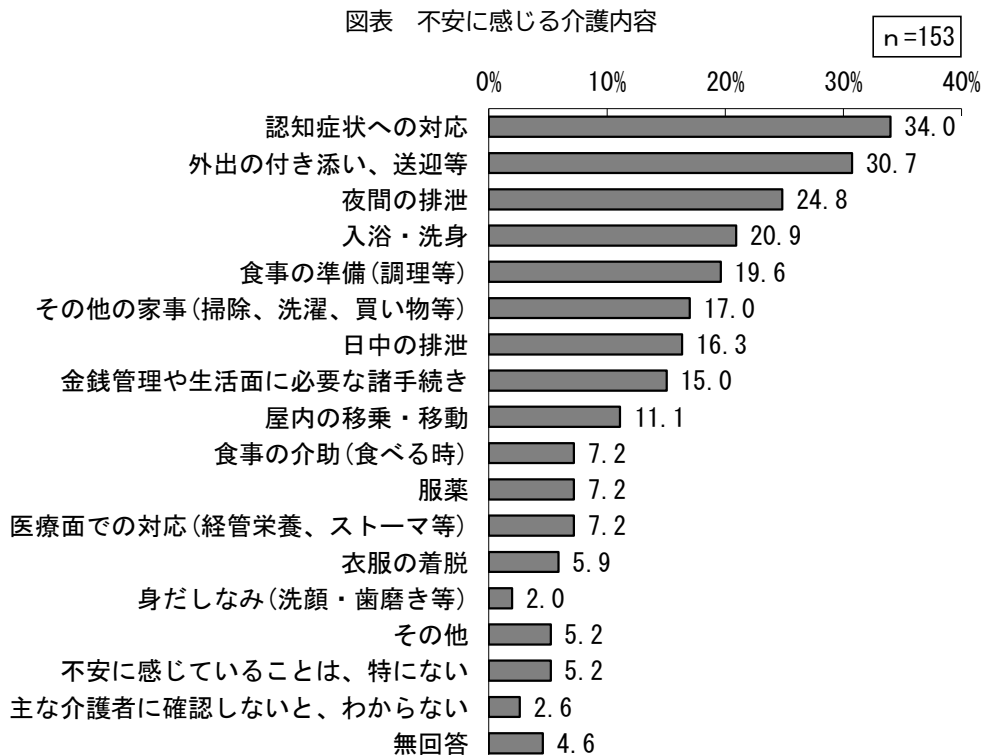


図表 介護を理由に離職した家族の有無（前回比較）

	カテゴリー名	今回	前回	増減
1	主な介護者が仕事を辞めた(転職除く)	7.8	11.5	-3.7
2	主な介護者以外の家族・親族が仕事を辞めた(転職除く)	1.3	0.9	0.4
3	主な介護者が転職した	3.9	3.7	0.2
4	主な介護者以外の家族・親族が転職した	1.3	1.8	-0.5
5	介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない	65.4	54.8	10.5
6	わからない	2.6	2.8	-0.2
	無回答	18.3	25.3	-7.0

④ 不安を感じる介護内容について

不安を感じる介護内容について、「認知症状への対応」が34.0%と最も高くなっています。次いで「外出の付き添い、送迎等」が30.7%、「夜間の排泄」が24.8%となっています。



(3) 地域とのつながりについて

地域とのつながりについて、「よく感じる」と「たまに感じる」を合わせた“地域とのつながりを感じる”と回答した割合が最も高い属性は、要支援1で66.7%となっています。

